



幼稚園だより

.....3月号.....

令和6年2月29日
中央区立月島第二幼稚園
園長 竹谷 直史

虹色の幼稚園

園長 竹谷 直史

園庭に降り注ぐ春の陽射しに温かさを感じる日が増え、いよいよ今年度の最終月を迎えました。この時期になると、幼稚園全体としても、次年度を見据えた各種の取組が行われます。

先月の年中長児の誕生会では、これまで年長児が行っていた会場準備や司会などの各種取組を年中児に引き継ぐ姿が見られました。年中児は、年長児への憧れの気持ちや緊張感を伴いつつ、背伸びをするかの如く一生懸命に取り組んでいました。年長児は、実に上手に年中児と共に動きながら、できそうな部分は任せていき、頑張っているところやできたところを具体的に認めつつ、自信がもてるように動いていました。その頼もしい姿を見るにつけ、職場等で新卒者に行われるOJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）の原型がそこにあるようにも感じました。

年少児も、年長児から各種のお誘いを受ける形で異学年の交流を楽しんでいます。また、学年混合で生活する機会を敢えて設けるようにして、いろいろな友達や先生とのかかわりを楽しんでいます。これらの経験は、次年度の新たな学級での生活が滑らかに展開することにもつながっていくはずです。

そして、今週には全学年合同での「なかよし会」が行われました。楽しい遊びのコーナーを、全園児が混ざり合う形で楽しみながら交流を深めていくひとときでした。各学級のクラスカラーの帽子が行き交う様子は、圧巻の一言でした。日頃は単色で固まって行動することの多い5つの色が混色され、幼稚園全体が虹色に染まっていくようでした。

本園玄関上部ガラス窓には、カッティングシートできれいな虹のアーチが架けられています。きっと今のような子どもたちの姿を願い、一人一人の子どもたちの個性を尊びながら設えられたことと拝察しています。

進学、進級を控えた今の時期は、さながら次の色に変わりゆく虹のグラデーション部分のように感じます。思うに、今年度の初めは、まだコロナ禍の余韻が漂う中でのスタートとなり、各種活動や行事等の在り方を確認しながらの日々でした。年度末を迎えるにあたり、きれいな虹色の幼稚園として教育活動を展開することができましたのも、ひとえに保護者・地域・関係の皆様のおかげと心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

< 3月の目標 >

年少組	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いを表しながら十分に遊びを楽しみ、みんなと一緒に過ごす楽しさを感じる。 ○幼稚園生活でできることや気付いたことを自分でしようとする。
年中組	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを伝えたり相手の気持ちに気付いたりしながら、自分たちの遊びを楽しむ。 ○年長組になることに期待をもち、生活に必要なことを進んで行ったり、学級の友達とのつながりを感じたりする。
年長組	<ul style="list-style-type: none"> ○修了への期待や見通しをもち、自分たちで遊びや生活を進めながらやり遂げていく充実感や達成感を味わう。 ○学年のみんなと互いの成長を感じながら、園生活を十分に楽しむ。
安全目標	<ul style="list-style-type: none"> ○交通ルールを守り、危険から身を守れるようにする。
生活目標	<ul style="list-style-type: none"> ○早寝早起きや自分のことは自分でするなど、基本的な生活習慣を見直しながら、成長したことを自分で感じるようにする。

